

大鹿村村長選 あなたの選ぶ候補者は「リニア」にどんな考え？

質問項目／候補者名	柳島貞康 候補	酒井和美 候補
1 現在進行しているリニア中央新幹線計画についての賛否をお聞かせください。	慎重に推進すべきだ	反対
2 大鹿村は2016年10月21日にJR東海との間で「工事用車両等に関する確認書」を締結しています。この確認書について今後どのようにすべきだとお考えですか。	現状の確認書は遵守した上で内容を再検討し、JR東海と交渉して新たな項目を加える	現状の確認書は遵守した上で内容を再検討し、JR東海と交渉して新たな項目を加える
3 現在、国道152号線では、道路や宿舍建設のための車輛だけでなく、直接リニアトンネルの建設のための車輛が通行しています。大鹿村は関連する道路整備(う回路も含めて)が終了した後に本体工事に取りかかるように、JR東海に求めてきた経緯があります。現状の国道152号線の車輛の通行についてどのようにお考えですか。	現状の工事車両の通行を前提に、歩行者の通行や沿道の生活環境への影響の低減を、JR東海に求める	現状の工事車両の通行を前提に、歩行者の通行や沿道の生活環境への影響の低減を、JR東海に求める
4 JR東海と中部電力は、伊那山地から上蔵の変電施設への送電について、青木川、小渋川を架空送電線と鉄塔を建設して実施する予定です。この計画についてどうお考えですか。	賛成 *ただし、今までの検討結果により、極力景観に配慮した計画を示した上で実施すべき	村内での送電はすべて地中化すべきだ
5 未着工の青木地区からのリニアトンネルの本体工事について、どのように対応すべきだと考えますか。	新たな確認書をJR東海との間で結ぶまで着工は認めるべきではない	新たな確認書をJR東海との間で結ぶまで着工は認めるべきではない
6 村内では河川の周囲に9カ所の仮残土置き場候補地があり、そのうちのいくつかは「三六災害」で河川が氾濫した場所に予定されています。自然災害時に残土が崩れ被害が生じた場合の責任は、地権者(村が地権者の場合は村)が問われるとされています。また、現地を見た地質学者の松島信幸氏は、土石流への防護措置や残土の置き方について配慮すべきだとコメントしています。現在の残土置き場の危険性についてどのように認識していますか。	現行計画のままでよい *ただし、現行候補地を予定地とし、国や県の安全基準に基づく計画を示した上で実施すべき	村内に仮残土置き場を提供すべきではない
7 リニア関連工事のトンネル掘削に伴い、水枯れ被害が生じる恐れがあります。水枯れ被害への補償や代替措置は法的には30年だとされています。水枯れ被害についてどのように対応すべきだと考えますか。	*恒久的な代替措置を求める	水枯れ被害が生じる可能性のある場所での工事に反対

順番はアンケート回収順、*は設問外の筆記事項です。



大鹿リニアを止める実行委員会 通信第5信

TEL 0265-39-2067 (宗像) メール munakatami@gmail.com